



なのみ通信

令和7年度 筑前町立東小田小学校 学校通信 6月5日 第4号

自らチャレンジする子どもの育成

6月5日の体力テストに向け、昼休み、体育館で練習する子どもたちです。多くの子どもたちが、記録を伸ばしたいと自主的に参加していました。目標に向かって自らチャレンジする姿に感心しました。



体験による学びを通して・・・

5月26日に開催しました117なのみ運動会では、多くの保護者の皆様にご観覧、ご声援いただきありがとうございました。また、PTA 役員の皆様には運動会での写真撮影、運動会後の掃除、そして、保護者の皆様には、テントの片付け等、最後までご協力いただき誠にありがとうございました。今回の運動会を通して、子どもたちが見せてくれた「目標に向かってチャレンジする姿」「最後まであきらめない姿」「頑張っている友だちを応援する姿」は、私たちに大きな感動を与えてくれました。この心をついにみんなで作り上げてきた経験を次の教育活動につなげていきたいと思います。

さて、麦刈りが終わり、いよいよ田植えの準備が始まりました。本校の5年生も恒例の米作りにチャレンジします。今年も米作りへの支援を快く引き受けていただき、サポートしていただいているのは本校区古賀善友さんです。運動会が終わり、5月29日(木)に「種もみまき」を行いました。そして、そこから重要なのが、毎日の水やりになります。水やりを忘れたり、適当に水をかけたりしたら、苗は育ちません。種をまき、しっかり育てていくことが大切です。校長室の窓から、子どもたちがたっぷり水をかけている様子が見られます。7月4日(金)には、5年生みんなで田植えを行う予定です。



また、6年生は、地域の方を招いて、大刀洗空襲について学習を始めました。さらに、4年生は、「サンポート、荒木浄水場」に社会科見学に行きます。また、1～3年生は、生活科や理科の学習で野菜を育てたり、花を育てたりしています。このようなこれまで大切にしてきた「体験による学び」は、実感を伴う学びとして学習内容が身に付いていくと同時に、心豊かな学びとなっていくものと考えます。一方、これまでになかったタブレット端末を活用した学習等、現在求められている学びも重要です。この両方の側面を大事にしながら今後も教育活動を進めていきたいと思っています。

交通事故から自分の命を守るために ～交通安全教室(1・2年生)～

5月29日、1・2年生を対象に交通安全教室を行いました。当日は、朝倉警察署、筑紫野自動車学校から3名の方に来ていただき、信号機がある横断歩道の渡り方を中心に、話を聞いたり、実際に横断歩道の渡り方を体験したりしました。言われたことをしっかり守り、横断歩道を渡る子どもたちです。よくできていました。しかし、実際は、学校の登下校や地域で練習したことができるかが重要なポイントです。

次の日の朝、いつものように信号機がない横断歩道で、登校指導をしていると、二人の子どもたちが、横断歩道の前で立ち止まり、手をあげて渡りました。私が横断歩道に立っていることも意識していたようですが、二人で声を掛け合い、手を挙げて渡る後ろ姿を見て、とてもうれしくなりました。最近では、登下校中の子どもたちに車が突っ込むなど、子どもたちの命が脅かされる事件や事故が起きています。誰一人たりとも交通事故で自分の命が奪われることがあってならないと強く思います。そのためにも、学校で学習したことを毎日の生活で実践してほしいと思っています。

また、毎朝、各地区で見守りをしていただいている地域の方々には、とても感謝しています。子どもたちが交通事故から自分の命を守ることができるよう、学校での安全指導はもちろん、ご家庭での声かけや地域での見守りを引き続きよろしくをお願いします。



交通安全教室(1・2年生)



信号機がない横断歩道を渡る子どもたち